

赤潮情報第55号 (有明海:シャットネラ属、カレニア ミキモトイ 警報解除)

熊本県水産研究センター 浅海干潟研究部

TEL0964-56-2613 FAX56-4533

赤潮情報 ホームページ <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/95/1794.html>

有明海に発令していたシャットネラ属及びカレニア ミキモトイの警報を解除します。

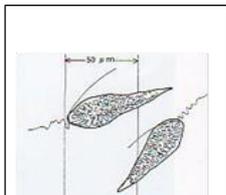
8月29日及び30日に熊本県が有明海を調査したところ、全22定点で上記のプランクトン細胞数が警報解除基準値（注意報細胞数：下表参照）を下回りました。

また、有明海の広範囲で本種と競合する珪藻類(スケルトネマ属等)が優占種化しており、両種による赤潮は終息したものと考えられますので、下表に示す有明海に発令した警報を解除します。

表 有明海において警報解除となった赤潮の一覧

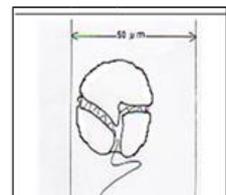
プランクトンの名称	警報発令日	警報解除基準値
シャットネラ属	令和4年（2022年）7月6日 赤潮情報第20号	5細胞
カレニア ミキモトイ	令和4年（2022年）8月15日 赤潮情報第43号	100細胞

海水1mL当たりの細胞数
上段:シャットネラ属
下段:(カレニア ミキモトイ)
左から水深0m, 5m



シャットネラ属プランクトン

警報 : 10細胞/ml以上
注意報 : 5細胞/ml以上



カレニア ミキモトイ

警報 : 1,000細胞/ml以上
注意報 : 100細胞/ml以上

珪藻類
点線で囲まれた部分は、確認された珪藻類と濁りによる着色域です。

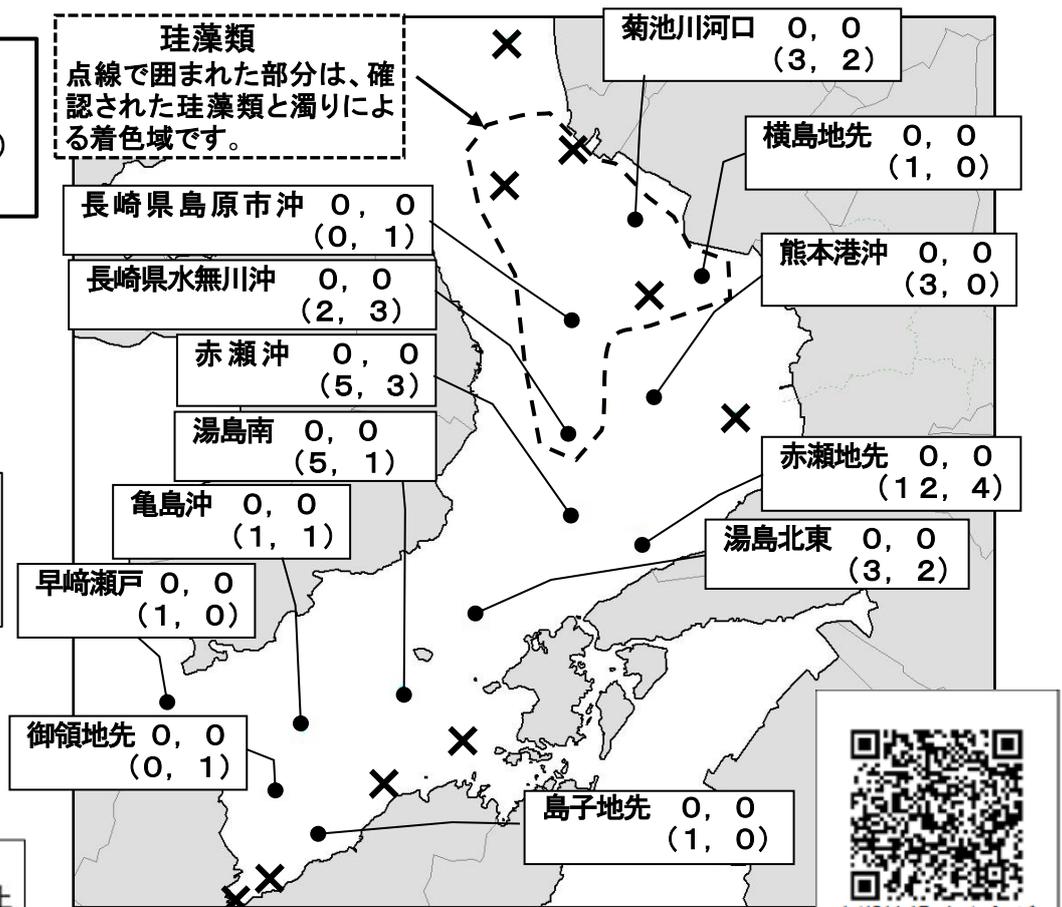


図 赤潮発生海域



赤潮情報 ホームページ

※有明海の広範囲で珪藻類（優占種:スケルトネマ属）が確認されています。

点線で囲まれた部分は、確認された珪藻類と濁りによる着色域です。

※×印：全ての採水層でシャットネラ属及びカレニア ミキモトイが0細胞（採水層：0m、5m）